

安全データシート

作成日2009年 1月 20日

改訂日2023年 4月 1日

1. 製品及び会社情報

製品の名称: クラウン 100J
会社名: ナショナル貿易株式会社
住所: 兵庫県明石市魚住町清水2378-3
電話番号: 078-941-9341
FAX番号: 078-941-8105
メールアドレス: gyomu@ntc-jp.com
推奨用途: 金属塑性加工用潤滑剤
使用上の制限: 推奨用途に限る

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 引火性液体 区分3
人健康有害性: 皮膚腐食性・刺激性 区分2
誤えん有害性 区分1
* 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険有害性情報:

危険
引火性の液体及び蒸気
皮膚刺激
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き:

【安全対策】
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースを取ること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
【応急措置】
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
火災の状況に適した消火剤を使用すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

情報なし

国・地域情報:

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: 金属塑性加工用潤滑剤
 成分及び濃度又は濃度範囲: 通知義務成分なし。

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 皮膚を速やかに洗浄すること。水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 粉末消火剤、一般の消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
 使ってはならない消火剤: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気をよくして処理する。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川に排出され環境に影響を起こさないように留意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収させて密閉できる空容器に回収して適切に処理する。
 多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策: 火気厳禁。静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
 局所排気・全体換気: 局所排気装置の設置、あるいは全体換気を適正に行う。
 注意事項: 適切な防護具を着用して、眼及び皮膚への接触を避け、またミスト・蒸気を吸入しないようにする。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

保管条件:	高温、火花、裸火のような着火源から離して保管する。 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は容器を密栓して保管する。 直射日光や雨を避け、涼しく換気のよいところで施錠して保管する。
容器包装材料:	製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等:	
管理濃度:	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産衛学会	設定されていない
ACGIH	設定されていない
設備対策:	取り扱う場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。 蒸気またはミストが発生する場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具:	ミストを吸入する恐れがある場合は、防じんマスクを着用する。 ガスや蒸気にばく露される場合は、有機ガスマスク等の着用を検討する。
手の保護具:	接触する場合には、ゴムまたは樹脂製の保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具:	眼に入る恐れがある場合には、状況に応じて保護眼鏡(普通型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具:	接触する場合には、ゴムまたは樹脂製の保護衣等を使用する。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗う。 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態/色:	無色透明液体
臭い:	データなし
融点/凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	あり
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
引火点:	50°C以上
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	該当せず
動粘性率:	1.2 (mm ² /s, 40°C)
溶解度:	水に混和せず。有機溶媒データなし。
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	0.78 (g/cm ³ , 15°C)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
化学的安定性:	一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性:	情報なし

避けるべき条件: 高温、火花、裸火、混触危険物質との接触。
 混触危険物質: 強酸化剤。
 危険有害な分解生成物: 燃焼の際は一酸化炭素、二酸化炭素等。

11. 有害性情報

本製品のGHS分類に際し、含有成分の有害性情報より推定した。

急性毒性(経口):	LD50 > 2000 mg/Kg (推定値)
急性毒性(経皮):	LD50 > 2000 mg/Kg (推定値)
急性毒性(吸入:気体):	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気):	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性・刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分外
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	区分外
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	区分1
その他の情報:	皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。 飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

12. 環境影響情報

本製品のGHS分類に際し、含有成分の有害性情報より推定した。

生態毒性:	
水生環境有害性-短期(急性):	分類できない
水生環境有害性-長期(慢性):	分類できない
残留性・分解性:	製品としての情報なし。
生体蓄積性:	製品としての情報なし。
土壌中の移動性:	製品としての情報なし。
オゾン層への有害性:	製品としての情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	残余廃棄物は事業者自身が処理するか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	3295
品名:	炭化水素類(他に品名が明示されているものを除く。)
国連分類:	3

容器等級:	Ⅲ
国内規制	
陸上規制情報:	消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
海上規制情報:	船舶安全法等の規定に従う。
航空規制情報:	航空法等の規定に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):	非該当
労働安全衛生法:	通知対象物質 非該当 危険物(引火性の物)
毒物及び劇物取締法:	非該当
消防法:	危険物第4類第二石油類
船舶安全法:	引火性液体
航空法:	引火性液体
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:	産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

記載内容は本データシートの作成時または改訂時において当社が入手できた資料、情報やデータに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

引用文献: JIS Z7253:2019